

## 五つ星「夕陽」☆☆☆☆☆

### 1. 要約

夕陽には不思議な力がある。落日と言われながらも、人の心を和ませ、ある時は揺さぶり、「夕陽の名所」(図 - 1)を提供し、観光面でも重要な役割を果たしている。

太陽の輝きが和らいだだけの平凡な夕陽でも、自然風景等のアクセサリに飾られ一層の鮮やかさや神秘を生み、季節によっては、絶景場所を造ってくれる。

糸島桜井二見ヶ浦では夏至に、伊勢二見ヶ浦の朝陽のように、島の上に夕陽の絶景が現れる(写真 - 4)。海外例では、ハワイ・ワイキキ付近公園では秋冬春に、正面の水平線上に絶景(写真 - 5)を描き、結婚記念写真の背景となるが、夏場にはグット北よりの陸地に沈み、情景は変る。

日没時刻は簡単に得られるが、季節で移る日没位置は分かり難く、偶に訪れる観光地では尚のことだ。

そこで、夕陽百選の写真構図と地図の地形を調べ、情景別の夕陽評価を推定し、展望地毎の月別情景に評価点を付けた「夕陽月別テーブル」を考案し、換算した星数から、「年間平均の星数」と「絶景月の星数」の併記を可能とした。即ち、〇〇海岸□□ホテル「【年】4☆:【12・1】hi6☆」の簡易表示で、五つ星等ホテルのように、その夕陽の格付けと月別情景を旅行情報に載せ易くする提案である。

この簡易表示を見れば、目的地の夕陽情景の月日の目安が得られ、「観光旅行計画」が立て易くなると考える。

日本夕陽名所例(図 - 1)



特定の夕陽(写真 - 1)



冬場の夕陽(写真 - 2)



### 2. 夕陽の魅力とドラマ

日本の住所(名)には、朝陽を意味する「朝日町」「朝日が丘」「旭町」から、日の出前の「曙」等が全国的に見られるが、夕陽が付く住所は昔夕陽信仰があったという大阪四天王寺地区以外には見当たらない。

しかし、「夕陽」の名所は各地にあり、「朝陽」の名所より目立つ。童謡にも「夕日」「入り日」「ひがしむ」「夕焼」と夕陽場面がもっぱら歌われている。

これは、夕陽の頃は未だ生活時間帯にあって、昼1日の惜別、感謝や反省のひと時であり、沈む夕陽は赤い光景を視界に描き、残された夕映えは、青から暗幕に変わり心を鎮めるからだろうか。一方、朝陽が出る頃は生活活動の前が多く、しかも、朝陽は水平線又は稜線からいきなり現われ、眩しくなるばかりで見つめられない。だから、元日やご来光の瞬間以外では観賞することが少ないと思われる。

夕陽は、住所には少ないが「夕陽ヶ丘」や「サンセットロード」等と名付けられ、夕陽を宣伝するホテルもあり、観光地にとっても重要な役者(スター)だ。

宇宙世界に一つの太陽光は、地球表面を昼夜の明暗（境界）線で分け、地球の自転公転に伴い、地上に「光」と「闇」を満遍なく与える。その明暗線上の「夕陽」は、水平線に沈むのか、水平線の島の後ろに隠れるのか、湾の縁の半島に沈むのか、眩しいまま高い稜線に隠れるのか、ビル等隙間に見え隠れするのか色々ある。

さらに、地軸の傾きが夕陽の季節変化を生み、沈む位置は年間大きく振れるため、名勝地でも夕陽情景の構図は日々変化し、絶景は年中見られず、特定の時期だけのことが多い。また、夕空も、夕焼雲の色彩も時々刻々変化し、日没後の島シルエットは影絵と化し、やがて闇夜となる。夕暮キャンパスは単純ではない。

夕陽観賞ができるのは、太陽の輝きが和らぎ肉眼で見える状態になる日没 30 分前、空気が澄んでいると 20 分前からで、日没後の夕暮キャンパスを楽しむ 20 分位迄で、合わせて 40 分程度であろうか。天候で左右される貴重なドラマの上映場所と時刻のプログラムがあれば、予約し、安心して楽しめる筈だ。

### 3. 日本の夕陽の名所

前出（図 - 1）の日本地図に、夕陽百選選定の約 70 箇所と日本風景街道のルート上の夕陽写真 15 箇所を示した。

#### （1）NPO 法人「夕陽百選」の夕陽

10 年ほど前から、NPO 法人夕陽百選選考委員会が、国内の夕陽の名所 200 ある内から、「日本の夕陽百選」を選定している。現在（2010/09）では、全国 47 都道府県の約 7 割の 32 県にあり、その分布は、西高東低で、西向きの日本海側に約 30 箇所と多く、その例が（写真 - 3）だ。

太平洋側は朝陽の適地だが、半島が突き出て西側に湾を抱いた場所等では季節により夕陽が見られ、約 10 箇所が選ばれている。（写真 - 4）は湾奥の稜線上の夕焼の例。

百選に関西地区が多く見られるなど、選定理由に地域の意欲も大きいと言う。選定が無い県内にも夕陽名所は見られ、選定箇所はさらに増えると思われる。

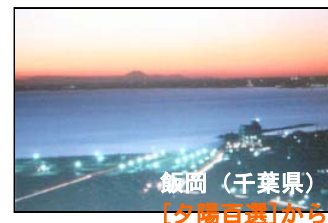
#### （2）「日本風景街道」の夕陽

原風景・文化・歴史をもち、四季折々に変化する美しい町、美しい道として登録されている「日本風景街道」の登録ルートは、全国に 118 箇所（2010/03）ある。その紹介写真約 700 には歴史・文化・活動の多いものが多く、夕陽も 15 点選ばれている。（写真 - 5）は夕陽が自慢の「長崎サンセットオーシャンロード」ルートのものである。

水平線の例（写真 - 3）



富士稜線の例(写真 - 4)



夕陽ルートの例（写真 - 5）



### 4. 夕陽百選の情景分類

夕陽百選の場所写真において、夕陽が水平線上か湾の半島稜線上か、内陸にある場合に湖面上か、名勝地・灯台夜景・橋など構造物が入っているかどうかを情景分類し、参考資料（参表 - 1・2）として最終頁に表示した。国立公園と国定公園内の場所は名称を四角囲みと下線で示したが、41 箇所あり約 6 割を占めている。

(1) 水面等情景別の箇所数

(参表 - 1・2) から、水面と情景を分類し、次の(表 - 1) に箇所数のみを示した。なお、箇所数の(%)は、全体箇所約71に対する割合である。

風景 夕映・夕陽 入り位置 情景 アケサリ	水面に映える風景						箇所計と 全体割合 (%)
	海面			湖面			
	水平線等	半島稜線	対岸稜線	地平線	稜線	夕空	
	水平線・海面	手前に海面	湖面	砂丘	町その他	建物	
夕陽のみ	24 (34%)	10 (14%)	4 (6%)	1 (2%)	4 (6%)	1 (2%)	44 (62%)
名勝地	5 (7%)	2 (3%)			1 (2%)		8 (11%)
灯台等	3 (4%)				1 (2%)		4 (6%)
建造物	3 (4%)	5 (7%)	1 (2%)		1 (2%)	4 (6%)	14 (20%)
飛行物		1 (2%)					1 (2%)
箇所計 (%)	35 (49%)	18 (25%)	5 (7%)	1 (2%)	7 (10%)	5 (7%)	
	53 (75%)		5 (7%)	8 (11%)		5 (7%)	
	58 (83%)			13 (17%)			71 (100%)

この表から、夕陽日没位置別の割合は、水平線上が49%半数を占め、湾の(水面に映えて)奥の半島稜線上が25%で、海水面に掛かる合計は75%となり、さらに内陸湖面を含めると水面の総合計は83%となる。即ち、夕陽にとって鏡となる水面は重要な要素といえる。

水平線に直接沈む夕陽の価値は高いが、達磨現象はさらに神秘的だ。また、水平線上の視野が4度程度以下の小島はシルエットとなり価値は上がり、大中島は価値を減じる。このほか、名勝地や灯台、歴史的建造物や長大な明石大橋に掛かる夕陽が選ばれた箇所がある。一方、地平線の箇所は、目下のところ鳥取砂丘のみである。

ただし、夕陽百選の写真はベストの情景と考えられ、季節・月によって構図は大きく変り価値も異なってくる。

(2) 展望地の地形(平面地図)による見方

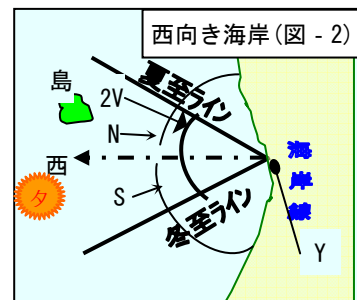
水面は夕陽にとって重要な要素であるので、平面地図上で展望地Yの海岸線、湾や岬の向きとの関係による夕陽の見え方を調べてみる。(図-2)

Yでの夕陽が沈む年間範囲は、真西から夏至(視界)ラインまでと、冬至(視界)ラインまでの角度で、ほぼ同じVであり、地球の中低緯度では、Yの緯度と、 $Z=23.4$ (南北回帰線)から  $V=Z/\cos(Y)$  となる。

福岡では、北緯  $Y=33.6^\circ$ 、 $\cos(Y)=0.834$  から、 $2V=2Z/\cos(Y) \approx 56^\circ$  となる。

(参考) 札幌  $Y=43^\circ$   $2V=64^\circ$ 。赤道  $Y=0^\circ$   $V=46.8^\circ$ 。

Y点から、真西に対し北側の陸地までの境界線角度をN、南側の陸地までの境界線角度をSとする。



①海岸低地（水際）の場合

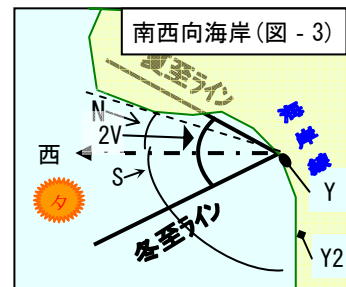
a. 西向き海岸 ( $N > V, S > V$ ) の例 (図-2) (再掲)

夏至・冬至ライン間  $2V$  に、陸地が無ければ、夕陽は年中水平線に沈み、小島ならシルエットとなり、上級の夕陽である。(例：象潟海岸、福間海岸)

b. 南西向き海岸 ( $N < V$ ) の例 (図-3)

夏以外の季節は水平線に沈むが、夏至ラインが北よりの陸地に掛かるため、夏場は陸地に沈む。

(例：ハワイワイキキ。津屋崎海岸)

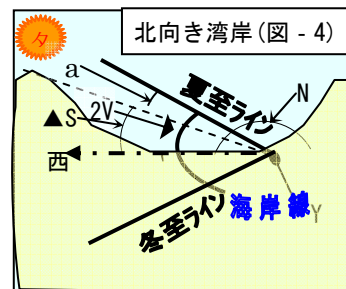


②湾内の低地（水際）の場合

a. 北向き湾岸 ( $N \doteq 180^\circ$ ) の例 (図-4)

大部分は西の陸地の稜線に沈む (例：高浜)。

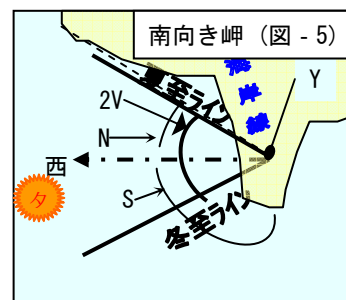
西側陸地が真西より北側 ( $S$  がマイナス値) となり、南側境界線が、夏至ライン内にあれば、 $a = V - S$  の僅かな間のみ水平線に沈む。



③岬（高台）又は島の上の場合

a. 南向き岬の例 (図-5)

海岸までの距離や高い山の有無にもよるが、東向き岬以外であれば、西側水平線視界を遮るものは少なく、視界がよく上級の夕陽観賞地となろう。(例：鷺羽山)



(3) 地形別と方位別の箇所数

夕陽百選の箇所の地形を地図上で調べ、地形別と、(図-2~5) の要領で、海岸線、湾の開き、岬（広い高台含む）突出の方位別に箇所数をまとめた (表-2)。

夕陽百選の地形別・方位別分類と箇所数

(表-2)

真西からの海岸角度	0~30度	30~70度	70~110度	110~150度	150~180度			地形計	埋立地	水面以外
海岸箇所			9	7	1			17	3	13
湾の開き	南	南西	西	北西	北	北東		湾計		湖畔東
湾箇所		3	4	3	1			11		5
岬の向等	南	南西	西	北西	北	北東	南東	岬等計	小島	
岬箇所	3	4	4	2	2	3	3	21	1	総合計
方位別計	3	7	17	12	4	3	3	49		71

夕陽の海岸方位については、真西に対し直角の90度を挟んで70度から150度が多く、湾の場合も同様に真西向きから南西・北西が多く、湖畔も西向き東岸が多い。岬（高台含む）の場合は、真東向きは反対側の陸地部が西にあるため、水面が見えないため該当は無いが、それ以外では夕陽百選箇所が満遍なく見られる。

## 5. 夕陽の評価法の提案

(1) 情景項目の評価要素（美観点①～⑥と利便性点⑦⑧）

(図 - 6) は、水平線上部は正面図、手前は平面を示し、夏至視界ライン・冬至視界ライン範囲内に見られる水面、稜線や対象物を示すモデルである。

①稜線等の高さ  $r$  (略記号を  $r$  とする。以下同様)

稜線や構造物上端の仰角は、6 度程度以内

日没 30 分以前の太陽は眩しく、その時点の仰角は、  
太陽の角速度  $0.25$  度/分と夕陽入射角  $56^\circ$   
 $r = 0.25 \text{ 度/分} \times 30 \text{ 分} \times \text{SIN}(56^\circ) \approx 6 \text{ 度}$  とする。

②水面  $m$

水面が視界に十分にあること

夕陽百選では、鏡となる水面に映る夕陽の価値は高く、海面に限らず湖面も選ばれている。

③水平線  $h$ 、地平線  $g$

水平線、地平線が視界に十分にあること

水平線に沈む夕陽達磨は神秘的で最高の価値がある。地平線も稀少価値。

④奇岩や小島  $l$

芸術的奇岩やシルエットとなる小島はアクセサリとして価値を高める

視野角度 4 度程度の小島はシルエットと化し、プラス要素とする。ただし、水平線上の大中島は水平線日没を妨げマイナス要素となる。

⑤名勝地  $v$

国立公園、国定公園等指定にあるものや名勝地は価値が高いとみなす

⑥灯台、美しい又は歴史的構造物（飛行物含む） $b$

著名な構造物のほか航空機や鳥もアクセサリと考える

アクセサリとならない単純な防波堤等はマイナスとする。

⑦展望地の見心地  $c$  (利便点)

オールシーズン見易いところは価値がある

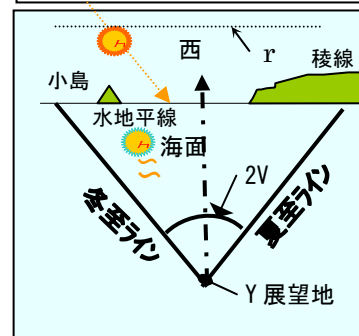
夏至から冬至まで夕陽が見え、落着いて観賞できれば、さらに価値を高める。

⑧展望地へのアクセス  $a$  (利便点)

オールシーズンもアクセスできるところは価値がある

夕陽百選の市町村の中心地から展望地へのアクセスや、歩く場合に誰でも行き易いところは、さらに価値を高めるが、季節変化もある。

夕陽情景の要素モデル (図 - 6)



(2) 月単位の評価点 (表 - 3)

展望地の月別夕陽に格付をし、観光旅行者に夕陽の月別情景を簡単に理解される表示法として、(表-1, 2) を参考に、夕陽百選の個所数が多いほど評価が高いと考え、風景として絶景と思われるものを 10 点満点となるように、各情景項目に配分して評価点をつけた。

ただし、④⑤⑥の 3 項目では 3 重複は無く、2 重複と考える (表 - 3)。

簡単表示のため月合計点を星数に換算して用いるものとした。さらに、展望地の条件は、10 点 (五つ星) の上に加点するものとし、12 点の場合は六つ星とした。

夕陽の月単位の情景項目評価配分点と展望地の例 1・2・3 (表 - 3)

情景項目	①r	②m	③h, g	④i	⑤v	⑥b	展望地		評価	
	稜線6度以内	水面	水平線地平線	奇岩・大小島	名勝地 国公園	構造物 飛び物	⑦c 見心地	⑧a アクセス	合計点 s	五つ星
配分点	2	3	3	1~▲1	1	1~▲1	1	1		
例 1	2	3	3	1	1				10	5☆
例 2	2	3	3	1		1	1	1	12	6☆
例 3	2	3	3	▲1		▲0.5			6.5	3☆

注：例 2 は、展望地が優れ六つ星。例 3 は、水平線に大島、海面に単純防波堤で結局三つ星。

(3) 夕陽月別テーブル (表 - 4) (表 - 5)

夕陽、即ち日没の同じ位置(方位)は年2回起り、夕陽の月別情景を表す「夕陽月別テーブル」では、時刻が早い月を上段に、遅い月を下段に並べると、両端の夏至・冬至には折り返すため、上段の月は7つになるため評価列も7列とし、上段の月の始終の方位を、(国立天文台情報から)真西を中心に範囲を度/度で表した。

西向きで緩やかな円弧海岸線の福津市福間海岸(表 - 4)とその北部の同市津屋崎海岸(表 - 5)は、共に住宅地に近いが玄海国定公園内にあるため、松原が続き、正面海に相島が見え、海のレジャー施設も整い、交通の便も特に問題ない。

①真西向き福間海岸の例(表 - 4)

ほぼ年中水平線に沈む光景が見られる(写真-7)が、昼間親しめる相島は夕陽情景としては1ヶ月間水平線を塞ぐため1点減、玄界島(写真-6)はシルエットを作るため1点を加える。海岸にある海浜公園には夕陽観賞者も多い。

展望地: 福津市 カフェ・ライ

夕陽月別テーブル(表-4)



時期	季節	記号	冬 W		春秋 M		夏 S		
	日没早月 日没遅月		12 12	11 1	10 2	9 3	4 4	5 8	6 7
方位	真西からの 範囲(度/度)		-28/ -26	-26/ -17	-17/ -3	-3/ 11	11/ 19	19/ 28	28/ 29
月別の夕陽情景	稜線高	r	2	2	2	2	2	2	2
	海・湖面	m	3	3	3	3	3	3	3
	水平線	h	3	3	3	3	3	3	3
	地平線	g							
	小島等	i		1	-1				
	名勝地	b	1	1	1	1	1	1	1
展望地	見心地	c	1	1	1	1	1	1	1
	アクセス	a	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
月合計点		s	9.5	10.5	8.5	9.5	9.5	9.5	9.5
評価星数			5☆	5☆	4☆	5☆	5☆	5☆	5☆

②南西向き津屋崎海岸の例(表 - 5)

津屋崎海岸の夕陽館海辺では、(写真-8)のように、大晦日には玄界島と糸島半島の上に沈み、貴重な絶景を求めて観賞や写真撮影に集まる。

ただし、夏場には（写真-9）のように夕陽は大峰山に沈むため水平線がなく、また、港からの防波堤が延び水平線に一部重なるため一部月はマイナス点とした。  
 なお、夕陽館には潮湯温泉があり、冬場の見心地・居心地に加点した。

展望地：福津市夕陽館

夕陽月別テーブル(表-5)



時期	季節	記号	冬 W		春秋 M			夏 S	
	月		12	11	10	9	4	5	6
方位	真西からの範囲(度/度)		-28/ -26	-26/ -17	-17/ -3	-3/ 11	11/ 19	19/ 28	28/ 29
			12	1	2	3	4	8	7
月別の夕陽情景	稜線高	r	2	2	2	2	2	2	2
	海・湖面	m	3	3	3	3	3	3	3
	水平線	h	3	3	3	3			
	地平線	g							
	小島等	i	1	-1					
	名勝地	b	1	1	1	1	1	1	1
	構造物	v				-0.5			
展望地	見心地	c	1	1	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	アクセス	a	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
月合計点		s	11.5	9.5	10	9.5	7	7	7
評価星数			6☆	5☆	5☆	5☆	3☆	3☆	3☆

(3) 全体簡易評価（年間評価と絶景月評価）

全体評価を表す「夕陽月別テーブル」の月合計点（7列）の年間平均評価と、最高評価星数の月を絶景月評価として下記のように併記表示して用いる。

①福間海岸カフェ・ラナイの試み

- ・年間平均評価  $66.5/7=9.5=$ 五つ星 であるから【年】5☆
- ・絶景月評価 3月10月を除き5☆で、水平線hに沈むため【除3・10】h5☆  
 したがって、全体簡易評価（格付け） 【年】5☆:【除3・10】h5☆

②津屋崎海岸夕陽館の試み

- ・年間平均評価  $61.5/7=8.8=$ 四つ星 であるから【年】4☆
- ・絶景月評価 12月・1月は6☆で、水平線hと島iに沈むため【12・1】hi6☆  
 したがって、全体簡易評価（格付け） 【年】4☆:【12・1】hi6☆

6. まとめ

夕陽名所には、「夕陽の見頃時刻」の案内箇所もあるが、旅行情報（誌）に、例えば全体簡易評価「【年】4☆:【12・1】hi6☆」様式で示すと、年平均は四つ星だが12月と1月には水平線と小島に沈むため六つ星と分かり、旅行計画が立て易いと考え。さらに、展望地ホテル等に準備された「夕陽月別テーブル」にて、何月に何処に沈むかをもう少し詳しく知ることができる。なお、芸術写真等の厳密な撮影には、日時位置が明確となる前7回夢アイデア提案の「夕陽時計」を使うと便利と考える。

[参考資料] グーグル夕陽百選写真、日本風景街道写真、グーグル地図、ふくおかナウN077、福津市パンフ、太陽及び月の出入り時刻方位情景表示具(実用新案)

〇夕陽百選の分類（参考資料）

水面、名勝、稜線等による分類との国立公園等区分(国立、国定) (参表-1)							
水面	水面が見える			水面見えず			
	水平線	海面・湖面の奥に 背景稜線		地平線	稜線	夕空	
夕陽入り箇所	海水面のみ小島	半島	湖				
自然・国立公園	留萌、江差、男鹿、象潟、鶴岡、相川、珠洲、三国、越前、西伊豆、網野町、西淡、赤穂、萩、小野田、由良、観音寺、高松、仁尾、詫間、宿毛、佐世保、五島、牛深	黒部、飯岡、浜島、高浜、泉南、北淡、倉敷鷺羽、小豆島、牛窓、真玉	古牧渋沢、十和田湖、長浜、湖北、	鳥取砂	池田、野沢、能勢豊能、高野山	播磨公園都市、	45
名勝奇岩	深浦、篠島、白浜、志摩桜井、天草、	館山、和歌山			横浜ランド、		8
ネオン灯台	酒田、御前崎、串本潮岬、				阪空中庭園、		4
建造物	多伎、双海、天草松島、	阿児、阪住江、阪舞洲、岬町、平戸	島根美術館、		奈良平城京、	四天王寺、岸和田、姫路城、原爆ドーム、	14
動き		関空					1

海岸地形と見る位置高低 (参表-2)										
海岸線西方位	30~70度	70~110度	110~150度	150~180度	小計	海以外	湖畔 東湖 西向岸	内陸水面以外		海以外計
水平線上		留萌、江差、象潟、酒田、相川、西淡、観音寺、仁尾、	鶴岡、北淡、双海、網野夕日浦、多伎、志摩桜井、		14		島根美術館、	奈良平城京、四天王寺、岸和田、姫路城、鳥取砂、播磨公園都市、原爆ドーム、		8
半島上		真玉、	泉南、	岬町、	3	稜線	古牧温渋沢、	池田、野沢、横浜ランド、		10
湾開向	南西	西	北西	北	小計		十和田湖、長浜、湖北、	阪空中庭園、能勢豊能、高野山、		
水平線上	宿毛、小野田、阿児、	西伊豆、和歌山、白浜、館山、	萩、天草、		7					
半島上			黒部、	高浜、	4					
岬の向等	南西	西	北西	北	北東	南	南東	小島、埋立地	小計	海合計
水平線上	串本潮岬、小豆島、佐世保、	男鹿、三国、越前、由良白崎、	深浦、詫間、	五島大瀬崎、	珠洲、平戸、天草松島	赤穂、牛深	御前崎、	篠島、	17	38
半島上	飯岡、			高松屋島、		牛窓、	浜島、倉敷鷺羽、	大阪住江、大阪舞洲、関空、	8	15